

第三セクター評価委員会での意見・要望及び市等の対応

団体名	No.	委員からの意見	市等の対応
(財)岩木振興公社	1	「財務諸表に対する注記」のうち、棚卸資産の評価基準及び評価方法へ、最終仕入原価法を採用しているが、これだけの規模の団体であれば、この方法は採用しない方が、財務状況が明確にわかる。 (平成23年度第2回会議)	財団の経理・税務関係を担当している公認会計士事務所に相談中。
	2	改革プランの進捗状況について、もう少し早い動きが必要である。 (集客等に関する)プランを立てた段階から少しずつでも実施していき、その中で調整していけばいい。 (財)ロマンピア・そうまとの一体的な改革として、スピード感を持って進めて欲しい。 (平成23年度第3回会議)	合併前は、新事業や設備投資について、財政的な裏付けがなされ、理事会が承認した場合はすぐに実行されていた。 合併後は、設立者である市の意向を確認し、同意がなければ、なかなか大規模な事業は実施できない。 市側と財団の協議について、できるだけ速やかに意向決定を行うよう努めていきたい。
	3	経営が良くできているのは理解できる。それであれば三セクではなくて民間として行ってもよいのではないかと。 公共として存在意義があるというのであれば、不必要な市の財政負担を避けるために、どちらかの黒字で他方の赤字を埋めることをやるべきだと思うので、経営統合は早急に進めて欲しい。 (平成23年度第3回会議)	新法人改革により一般財団法人へ移行した後は、株式会社と同様の扱いになる。 双方の財団は設立当時から運営方針が異なっており、現在の運営体制も相違点が多く、役員等からは、統合に関して否定的な意見も出されている。 また、地元関係者への説明は全く行われていない。

第三セクター評価委員会での意見・要望及び市等の対応

団体名	No.	委員からの意見	市等の対応
財星と森のロマントピア・そうま	1	経営アドバイスが、8月以降ずっと調査分析中となっているが、進展はどうなっているか。 (平成23年度第3回会議)	平成24年3月に報告書が提出された。報告書では、経営感覚・企画力に優れ、営業戦略を持った人材の雇用等が提言されており、平成24年7月から、ホテル等の運営経験があり、接客施設の運営立て直しにも実績のある人材を支配人として配置した。
	2	宿泊業やサービス業などの対個人サービスに精通している人材をアドバイザーとして迎えてはどうか。 (平成23年度第3回会議)	平成24年3月に報告書が提出された。報告書では、経営感覚・企画力に優れ、営業戦略を持った人材の雇用等が提案されており、平成24年7月から、ホテル等の運営経験があり、接客施設の運営立て直しにも実績のある人材を支配人として配置した。
	3	宿泊は岩木の方を主体にして、ロマントピアは、宿泊主体ではない別な利用法、例えばキャンプ場や青少年のための施設として使う方法もあるのではないか。 (平成23年度第3回会議)	屋外施設の老朽化が激しく、全般的な点検を行ったうえで、本格的な修繕が必要である。 施設の中で危険と判断され、休止しているもの(スカイサイクル)は撤去する方向で検討中である。 施設の低額での貸出等、利用率の向上策を検討中である。
	4	どこに経営理念や目標を置いてやっていくのかが、第一に必要である。 客数を増やしていくためには、「星と森のロマントピア」というロマンある名前をもっとPRして、例えば小学生対象に星の勉強会をするなどもよいのではないか。 すぐ近くに白神山地もあり、そういうことを経営理念として拡大してはどうか。 (平成23年度第3回会議)	現在、天文台は教育委員会所管で、財団の指定管理となっていない。 将来的には、天文台も指定管理を行い、既存の森林科学館と合わせて、子供たちの自然体験施設として利活用出来るよう、教育委員会とも協議し、検討をしていく。
	5	例えば、温泉を猿に使わせればイメージが上がると思うし、使用されていないスペースに産直をいれればどうかとも思う。 必要なのは、ビジネスプランである。 (平成23年度第3回会議)	周辺の遊休地、余剰地の利活用策は、上記3と合わせて検討していく。

第三セクター評価委員会での意見・要望及び市等の対応

団体名	No.	委員からの意見	市等の対応
弘前ウォーターフロント開発(株)	1	<p>会社の固定資産を市で買い上げて、債務に充てることは考えられないか。そういう方法などを考えないと、債務返済のめどがたたないのではないか。 (平成23年度第3回会議)</p>	<p>会社の経営については、現在岩木川ゴルフ愛好会内の委員会が再編され、総務委員会が新たに設置されており、ゴルフ場の運営に会員の意見を取り入れる体制づくりが進められていると伺っております。総務委員会では、今後長期預り金の対応も含め、会社運営に対し、様々な提言がなされるものと考えております。市としましては、同社が自ら経営改善に向けて行っている取組みに期待するとともに、今後の推移を注視してまいります。</p>
	2	<p>単年度で黒字となることを目指して、それをもとに債権者や銀行に働きかけて負債を減額するなどの努力が必要だと思ふ。そのためにも、最低限の指定管理料は見る必要がある。 (平成23年度第3回会議)</p>	<p>市民ゴルフ場の設置者である市としまして、他の体育施設と同様に、市民ゴルフ場の良好な利用環境を維持するため、平成23年度から指定管理料を支出しております。積算にあたっては、ゴルフ場の管理運営、維持管理費を基礎として、その収入分をもって積算しております。会社は、自主事業収入をこれまでゴルフ場の運営に充てざるを得ない状況でしたが、ようやく自主事業収入から償還財源を生み出すことができたものと考えております。</p>
	3	<p>出資した会員に対する債務の返済の用途を、不透明にしたまま先延ばしにせず、どこかの段階で、債務超過の状況と今後どのような返済計画を立てていくかを説明してほしい。 (平成23年度第3回会議)</p>	<p>会社の経営については、現在岩木川ゴルフ愛好会内の委員会が再編され、総務委員会が新たに設置されており、ゴルフ場の運営に会員の意見を取り入れる体制づくりが進められていると伺っております。総務委員会では、今後長期預り金の対応も含め、会社運営に対し、様々な提言がなされるものと考えております。市としましては、同社が自ら経営改善に向けて行っている取組みに期待するとともに、今後の推移を注視してまいります。</p>